

南平 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科：地理歴史 科目：世界史探究 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 1組～8組

使用教科書：（世界史探究「詳説世界史」）

教科 地理歴史 の目標：
 【知識及び技能】現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、
 【思考力、判断力、表現力等】調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べるとする技能を身に付けるようにする。多面的・多角的に考察したり、
 【学びに向かう力、人間性等】社会に見られる課題の解決に向けて考察する力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりす
 地理や歴史に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、
 【学びに向かう力、人間性等】多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他

科目 世界史探究	の目標：
【知識及び技能】	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べるとする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする。
【学びに向かう力、人間性等】	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A 単元「古代文明の特質」 【知識及び技能】 オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	・指導事項 ○オリエントの風土と、その文明の歴史的特質の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ○メソポタミア文明が今日に残した文化的遺産を理解する。 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 オリエントの大半が乾燥地帯であること、そのなかで大河流域のメソポタミアとエジプトで灌漑農業をもとにいち早く文明化したことを理解している。 【思考・判断・表現】 ハンムラビ法典や『旧約聖書』などの資料をもとに、当時の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 オリエント文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
B 単元「中央ユーラシア、東アジア」 【知識及び技能】 魏晋南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「女史箴図」などの図像資料や『顔氏家訓』などの資料をもとに、魏晋南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 魏晋南北朝の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。	・指導事項 ○遊牧民族の動きと魏晋南北朝の動乱の関係について理解する。 ○魏晋南北朝時代の中国の情勢が朝鮮半島や日本に与えた影響について理解する。 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 魏晋南北朝の動乱がどのように展開したのかについて、遊牧民族との関わりもふまえて理解している。 【思考・判断・表現】 「女史箴図」などの図像資料や『顔氏家訓』などの資料をもとに、魏晋南北朝時代の社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 魏晋南北朝の動乱について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
1 学期 定期考査			○	○		1
C 単元「南アジア、東南アジア」 【知識及び技能】 インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえて、インド古典文化とヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学	・指導事項 ○グプタ朝における宗教や文化の展開を理解する。 ○ヒンドゥー教が南アジアの社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 インド古典文化の黄金期とされるグプタ朝において、文化がどのように展開したのかを理解している。 【思考・判断・表現】 それまで仏教やジャイナ教が盛んだったことをふまえて、ヒンドゥー教が社会に根づいていった背景を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 インド古典文化とヒンドゥー教について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	○	○	○	20
D 単元「西アジアと地中海世界」 【知識及び技能】 ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ○地中海における領土拡大がローマ共和国に与えた影響を理解する。 ○ローマ帝国が危機を迎えた要因を多面的・多角的に考察し、表現する。 ○キリスト教の成立過程を理解している。	【知識・技能】 ローマがどのような経緯で都市国家から帝国にいたったのか、またローマ人の文化にはどのような特徴があるのかを理解している。 【思考・判断・表現】 モザイク画などの図像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ロー				

	<p>モザイク画などの画像資料や「神皇アウグストゥス業績録」などの資料をもとに、ローマが地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p>	<p>・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>マカ地中海世界を統一し、それを維持できた理由を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古代ローマについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>E単元「イスラーム世界の成立とヨーロッパ中世世界の形成」</p> <p>【知識及び技能】 西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解しようとする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p>	<p>・指導事項 ○ヨーロッパの自然条件と大規模な人の移動との関係について理解する。 ○カール大帝の戴冠が世界の歴史において持つ意義について理解する。 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 西ヨーロッパと東ヨーロッパがそれぞれどのようにして独自の世界を形づくっていったのかを理解しようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 荘園の構造を示す概念図や『ガルベール＝ド＝ブリュージュの日記』などの資料をもとに、西ヨーロッパに成立した封建社会の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>				12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>F単元「イスラーム教の伝播と西アジアの動向」</p> <p>【知識及び技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 『トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとする。</p>	<p>・指導事項 ○イスラーム文化が中央アジアにもたらした変化について理解している。 ○アフリカにおいてイスラーム化が進んだ要因を考察し、表現している。 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 中央アジア・南アジア・東南アジア・アフリカの各地でどのようにイスラーム化が進んだのかを理解しようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 『トルコ語・アラビア語辞典』序文などの資料をもとに、イスラーム教の伝播・拡大においてトルコ人の果たした役割を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 イスラーム教の各地への伝播について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>				20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>G単元「ヨーロッパ世界の変容と展開」</p> <p>【知識及び技能】 中世の西ヨーロッパの文化について、キリスト教の影響が大きかったことを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 大聖堂の写真や大学の講義風景を描いた画像資料などをもとに、中世の西ヨーロッパの文化的な特徴を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中世の西ヨーロッパの文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p>	<p>・指導事項 ○中世の西ヨーロッパにおいてキリスト教が果たした文化的な役割を理解する。 ○西ヨーロッパにおける大学の成立過程を理解する。 ・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 中世の西ヨーロッパの文化について、キリスト教の影響が大きかったことを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 大聖堂の写真や大学の講義風景を描いた画像資料などをもとに、中世の西ヨーロッパの文化的な特徴を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世の西ヨーロッパの文化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16
	<p>H単元「東アジア世界の展開とモンゴル帝国」</p> <p>【知識及び技能】 モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解する。</p>	<p>・指導事項 ○モンゴル帝国による支配が東アジアにおよぼした影響について理解する。 ○モンゴル帝国のユーラシア大陸支配によって生まれた東西交流が後世の世界史にもたらした影響について多面的・多角的に考察し、表現する。</p>	<p>【知識・技能】 モンゴル帝国がどのように成立し、解体したのか、そして帝国の支配は社会にどのような影響を与えたのかを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一</p>				

<p>【思考力、判断力、表現力等】 モンゴル帝国の最大領域を示す地図や「混一疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組む。</p>	<p>・教材 「世界史探究 詳説世界史」 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>疆理歴代国都之図」などの図像資料をもとに、モンゴル帝国の成立世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 モンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
合計						105